

2026

試験日：R8.2.14

令和8年度
(2026年度)

私費外国人留学生選抜
学生募集要項



茨城大学
Ibaraki University

※ 本文中にある「各学部、学科・課程等」などの表現には、「地域未来共創学環」も含まれます

私費外国人留学生選抜について

| | |
|--------|--------------------------|
| 出願期間 | 令和8年1月20日（火）から1月22日（木）まで |
| 試験期日 | 令和8年2月14日（土） |
| 合格者発表日 | 令和8年2月20日（金） |

【注意事項】

出願前に必ず以下のことについて、確認してください。

- ①在留資格「留学」の申請には、合格後、在留資格認定証明書（COE）を日本の出入国在留管理局から取得することが必要です。この交付申請は日本国内でしか行うことができません（海外からの郵送等で手続きを行うことはできません）。本学では、日本国外に居住する外国籍の合格者のために、出入国在留管理庁へ「在留資格認定証明書（COE）」（留学）の代理申請を行っています。代理申請の方法については、合格者に別途詳細をお知らせします。
なお、交付には申請書提出後3か月かかる見込みです。入学式や授業開始に間に合わない可能性が高いので、あらかじめ、本学グローバルエンゲージメントセンターのホームページで詳細をよく確認の上、下記〈在留資格についての問合せ先〉に必ずご連絡ください。短期滞在ビザで大学に在籍し続けることはできません。
- ②本学では、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を取得した者を“外国人留学生”としています。したがって、入学後に「留学」の在留資格を有しない者は、本学国際交流会館への入居や奨学金の申請など、外国人留学生向け各種取り扱いの対象とはなりませんので、注意してください。
- ③地域未来共創学環では、3年次に必修で有給実習（コーオプ実習）を実施します。そのため、3年次までに資格外活動許可の取得が必要となります。出願時に取得していない場合でも、出願は可能です。

〈在留資格についての問合せ先〉 茨城大学グローバル教育サポート室

電話 029-228-8593

Email adm-international.sbx@vc.ibaraki.ac.jp

ホームページ http://cge.lae.ibaraki.ac.jp/international_student/license.html

■年号表記について

本文中に記載されている、下記左欄の年号表記は、同右欄の西暦に対応しています。

| 年号表記対応表 | |
|---------|-------|
| 年号 | 西暦 |
| 令和7年 | 2025年 |
| 令和8年 | 2026年 |

■学生募集要項に記載されている日時は、日本標準時に基づいています。

目 次

| | |
|-------------------------------|-------|
| インターネット出願の流れ | 1 |
| 茨城大学のアドミッション・ポリシー | 5 |
| 各学部・学科等のアドミッション・ポリシー | 5 |
| 1. 募集人員 | 15 |
| 2. 出願要件 | 15 |
| 3. 選抜方法等 | 17 |
| 4. 配点 | 19 |
| 5. 出願手続 | 20 |
| 6. 試験日程・試験場 | 27 |
| 7. 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除 | 28 |
| 8. 障害等のある入学志願者の事前相談 | 29 |
| 9. 合格者発表 | 30 |
| 10. 入学手続等 | 30 |
| 11. 情報提供 | 33 |
| 12. 個人情報の取扱い | 34 |
| 13. 不正行為・迷惑行為 | 34 |
| ◎試験場等案内図 | 35 |
| 入学者選抜に関する問い合わせ先 | (裏表紙) |

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

出願登録・検定料・必要書類等の詳細については、必ず学生募集要項本文を確認して、不備のないように出願してください。



事前準備

事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨。)
必要書類は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。



Web出願サイトにアクセス

Web出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/ibaraki-n/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.ibaraki.ac.jp/admission/>

からアクセス



STEP 1

マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP2に進んでください。



① 初めて登録する方は
マイページ登録 から
ログインしてください。



② メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信 を
クリックしてください。



③ ユーザー登録画面から
ログインページへ を
クリックしてください。



④ 登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログイン を
クリックしてください。



⑥ 初期パスワードの変更を
行ってください。



⑦ 表示された個人情報等を入力
して **次へ** を
クリックしてください。



⑧ 個人情報等を確認して
この内容で登録する を
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへ を
 クリックしてください。



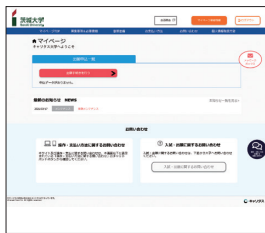
⑩上記ページが表示されたら
 マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、**出願手続きを行う** ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
 登録期間外の場合は、これより先に進みませんので **ログアウト** ボタンをクリックしてください。

STEP 2

出願内容の登録

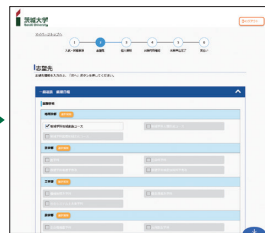
画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



①マイページログイン後の
出願手続きを行う ボタン
 から登録画面へ



②選抜区分と留意事項の確認



③志望学部等の選択



④顔写真のアップロード
写真選択へ ボタンをクリックし
 写真を選択します。



⑤個人情報(氏名・住所等)の
 入力



⑥出願内容の確認
志願票(サンプル) ボタンを
 クリックすると志願票が確認できます。



⑦申し込み登録完了
引き続き支払う ボタンを
 クリックし検定料のお支払い画面へ。



⑧検定料の支払い方法
 ●コンビニエンスストア
 ●ページ対応銀行ATM
 ●ネットバンキング ●クレジットカード



⑨出願に必要な書類PDF
 (イメージ)

※検定料納入後に出力可能となります。

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ページ対応銀行ATM」を選択された方は、**支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はページ対応銀行ATMにてお支払いください。**

セブン-イレブンの場合

払込票番号
 メモ(13桁)

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済
 番号メモ(11桁)

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ページ対応銀行ATMの場合

お客様番号
 メモ(11桁)

確認番号
 メモ(6桁)

収納機関番号
 (5桁)

5 8 0 2 1

※収納機関番号は、ページで
 お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

STEP

3



検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、
FamilyMart



4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

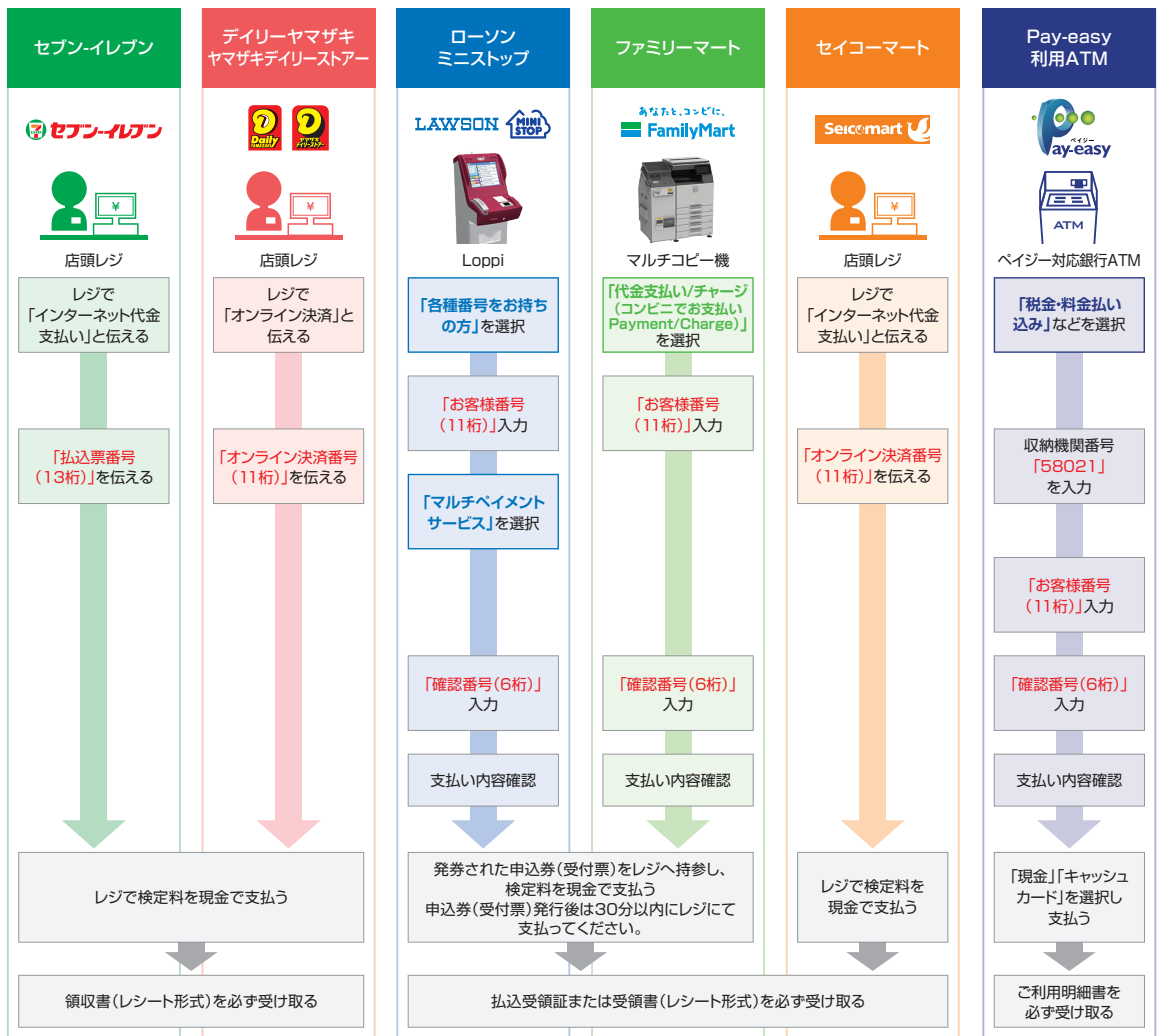
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作し、お支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア



4 銀行ATM

STEP

4

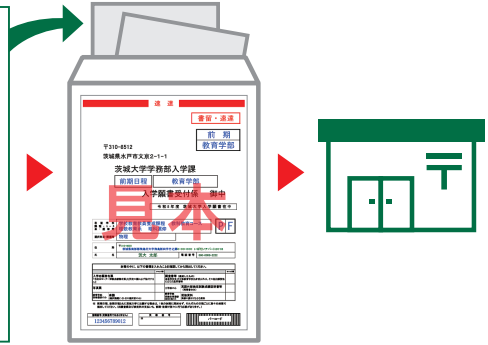
必要書類のカラー印刷と郵送

出願登録、検定料の支払後にダウンロードできる書類を全てカラー印刷し、その他の必要書類とあわせて、出願期間内に郵便局窓口から「書留・速達郵便」で郵送してください。

出願に必要な書類は、私費外国人留学生選抜学生募集要項のp.24～25を参照して準備してください。

<出願締切>
令和8年1月22日（木）必着

※持参の場合は同日16時30分まで



出願書類提出宛名シート
市販の角形2号封筒(240mm×332mm)
に貼り付けて作成

出願書類の郵送先は宛名シートに自動で印字されます。

■出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。出願に必要な書類は各学生募集要項を参照してください。

※いったん受理した検定料・必要書類は返却しません。

<出願完了>

出願時の 注意点

「インターネット出願」は、Web上の出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、必要書類を郵送（提出）することで出願完了となります。必要書類を郵送（提出）するまで出願は完了していませんので注意してください。

Web上での出願登録や検定料の支払は24時間可能（ただし、コンビニエンスストア、ATM、施設等の営業時間に準拠します。）ですが、登録締切時刻、支払締切時刻、書類必着締切時刻を募集要項本文でよく確認して、余裕を持った出願を心がけてください。

STEP

5

受験票の印刷

出願期間後に、Web出願サイトから受験票が印刷できるようになります。マイページからログインして、「受験票・受験者心得(PDF)の表示」ボタンから必ず各自で受験票を印刷し、試験当日に持参してください。

受験票は、令和8年1月27日（火）以降、印刷可能になります。

受験票は本学から郵送されませんので、必ず各自で印刷してください。

※パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が一致していることを必ず確認してください。

茨城大学のアドミッション・ポリシー

茨城大学では、以下の4つの能力と資質を有する多様な志願者を求めています。能力と資質の詳細は、学部・学科等（課程・コース等）毎に異なっており、志願者に対して、それぞれ適切な方法で選抜を行い入学者を決定します。

◆茨城大学のアドミッション・ポリシー◆

1. **（知識・技能）** 大学における専門分野の学修に必要な基礎学力を有していること
2. **（知的関心）** 自分の身近な事柄だけでなく、地域の事象、自然環境、国際社会、人間と多様な文化等の広い分野に対する知的関心を有していること
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において他者と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

◆各学部・学科等のアドミッション・ポリシー◆

人文社会科学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

人文社会科学部では、文系総合学部としての特徴を生かし、主専攻であるメジャーと副専攻であるサブメジャーの複合による学修を通じて、人間の文化と社会活動に関する専門性を持ちながら、世界のさまざまな「地域」で生き生きと働き、活躍できる人材を育成します。

したがって、人文社会科学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 人文社会科学部における専門分野の学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）**
 - ア) 現代における地域・国際社会とメディア、法律と経済、人間と多様な文化などの広い分野についての知的関心
 - イ) 大学での学びを通じてこれらを探究し、自らを高め、成長したいという積極的な意欲
3. **（思考力・判断力・表現力）**
 - ア) さまざまな課題を他者ととも解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力
 - イ) さまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲

| 人文社会科学部 現代社会学科 | |
|--|--|
| 学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>現代社会学科には「メディア文化メジャー」「国際・地域共創メジャー」があります。ここでは、現代のさまざまなメディアの特質についての学びを通じて表現力・発信力を鍛えるほか、社会学、地理学、政治学、国際学などのアプローチによる国内外の地域課題の調査から、解決策を提案する力を養います。</p> <p>それにより、多様な人々との対話と協働をとおして現代社会におけるさまざまな課題を見だし、地域活性化や文化の創造に携わっていただけるような人材を育成します。</p> <p>したがって、現代社会学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (知識・技能) 現代社会学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. (知的関心) <ol style="list-style-type: none"> ア) 現代社会におけるメディア、地域または国際社会についての広い知的関心 イ) 現代社会における諸問題を、社会学、地理学、政治学、国際学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3. (思考力・判断力・表現力) <ol style="list-style-type: none"> ア) 現代社会におけるさまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 現代社会におけるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲 |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 現代社会におけるメディア、地域及び国際社会に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、主体性をもってさまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。 イ) 面接(作文含む) 主に1)の一部、3)、4)及び5)を評価します。 |

| 人文社会科学部 法律経済学科 | |
|--|---|
| 学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>法律経済学科には「法学・行政学メジャー」「経済学・経営学メジャー」があります。ここでは、法学、行政学、経済学、経営学を中心に関連する学問分野を総合的に学び、生活者や企業の抱えるさまざまな問題に法的アプローチによって対応したり、市場の役割・企業活動の意義を認識し経済政策やマネジメントを構想したりすることにより、地域の持続的発展に貢献できる理論的・実践的な課題解決能力を持つ人材を育成します。</p> <p>したがって、法律経済学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (知識・技能) 法律経済学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. (知的関心) <ol style="list-style-type: none"> ア) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割についての広い知的関心 イ) 社会における諸問題を、法学、行政学、経済学、経営学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3. (思考力・判断力・表現力) <ol style="list-style-type: none"> ア) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな課題を他者とともに解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 法、行政、経済、経営をめぐるさまざまな問題を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲 |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力 2) 文献・資料読解のための英語に関する基礎学力 3) 法、行政、経済、経営が果たす社会的な役割に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、主体性をもってさまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。 イ) 面接(作文含む) 主に1)の一部、3)、4)及び5)を評価します。 |

| 人文社会科学部 人間文化学科 | | | | | |
|--|--|-----------|----------------|-------------|--------------------------|
| 学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>人間文化学科には「文芸・思想メジャー」「歴史・考古学メジャー」「心理・人間科学メジャー」があります。ここでは、人文諸科学の幅広い学びを基礎とし、心やことばの問題をとおして人間の本質を探究するとともに、日本および世界の諸地域の歴史や文化についての理解を深めることにより、人間とその文化の深層を見抜き、よりよい人生、よりよい社会の構想を提案できる力を身に付けた人材を育成します。</p> <p>したがって、人間文化学科において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. (知識・技能) 人間文化学科における専門分野の学修に必要な基礎学力 2. (知的関心) <ol style="list-style-type: none"> ア) 文芸や思想、日本を含む世界の歴史、人間の心理や文化についての広い知的関心 イ) 人間文化の諸問題を、文学、哲学、言語学、史学、考古学、心理学、文化人類学などの手法を通じて自ら発見し、解決しようとする積極的な意欲 3. (思考力・判断力・表現力) <ol style="list-style-type: none"> ア) 人間文化に関わるさまざまな課題を他者ととも解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 イ) 文芸や思想、日本を含む世界の歴史、人間の心理や文化を深く理解するための読解力や分析力、自分の意見をわかりやすく表現するための記述力などの基礎 4. (主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度) 自主的・主体的に、さまざまな人々とコミュニケーションを取りながら、協働して活動する意欲 | | | | |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 専門分野の学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力 2) 文献・資料の読解のための英語に関する基礎学力 3) 文芸や思想、日本を含む世界の歴史、人間の心理や文化に対する知的関心 4) さまざまな課題を解決していくための基礎的な思考力、判断力、表現力 5) これまでの学習や生活において、主体性をもってさまざまな人々とコミュニケーションを取りながら協働して活動した経験、あるいは探究活動の経験 | | | | |
| 評価方法 | <p>【私費外国人留学生選抜】</p> <table border="0"> <tr> <td style="padding-right: 20px;">ア) 日本留学試験</td> <td>主に1)の一部を評価します。</td> </tr> <tr> <td>イ) 面接(作文含む)</td> <td>主に1)の一部、3)、4)及び5)を評価します。</td> </tr> </table> | ア) 日本留学試験 | 主に1)の一部を評価します。 | イ) 面接(作文含む) | 主に1)の一部、3)、4)及び5)を評価します。 |
| ア) 日本留学試験 | 主に1)の一部を評価します。 | | | | |
| イ) 面接(作文含む) | 主に1)の一部、3)、4)及び5)を評価します。 | | | | |

教育学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

教育学部では、実践的指導力のある教員を養成することをめざしています。私たちを取りまく世界は目まぐるしく変化しています。このような現代の社会にあって、教員に求められていることは、人間・社会・自然についての知的探求心を基礎にした確かな教育的実践力です。教育学部では、十分な専門的知識と子どもの成長や発達に対応した教育的方法を身に付け、さらに教育に関わる幅広い視野をもった、人としての魅力と実力のある教員を養成します。

したがって、教育学部においては、全学のアドミッション・ポリシーで示される4つの能力ないし資質に加え、以下の能力・資質を入学者に求めます。

1. 教員になるための学修に必要な、各教科についての幅広い知識
2. 教育への関心と教員になりたいという強い意欲

さらに、学校教育教員養成課程の各コースでは、学部全体で求める能力・資質に加え、それぞれ以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。

- ・（教育実践科学コース）学校や子どもを巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力
- ・（教科教育コース）各選修の教科についての関心とその内容の探究に必要な思考力・判断力・表現力
- ・（特別支援教育コース）障害のある子どもとその教育を巡る問題についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力

また、養護教諭養成課程では、学部全体で求める能力・資質に加え、以下のような資質・能力を身に付けていることを求めます。

- ・健康や病気についての関心とその探究に必要な思考力・判断力・表現力

| 教育学部 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修 | |
|---------------------------------------|---|
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | 1) 教員になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、教えることへの関心と教員になりたいという強い意欲 3) 英語と日本語で他者とコミュニケーションする能力と基礎的な英語力 4) 異文化を積極的に理解し学ぼうとする意欲 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。 イ) 面接 主に1)の一部、2)、3)及び4)を評価します。 |

| 教育学部 養護教諭養成課程 | |
|--------------------|---|
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | 1) 養護教諭になるための学修に必要な、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 子どもと関わること、子どもの発育・発達や健康への関心と養護教諭になりたいという強い意欲 3) 子どもの健康や病気についての基本的な知識とその向上に必要な思考力、判断力、表現力 4) 協働して問題解決に取り組むためのコミュニケーション能力 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。 イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。 |

理学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

理学部は、自然科学に関する真理、原理、理論を論理的、かつ、合理的に理解することを目指す学部です。本学部は、1学科6コース制を導入しており、理学科の中に数学・情報数理、物理学、化学、生物科学、地球環境科学、総合科学の6コースがあります。理学部では、各専門分野の学修を通して得られる高い専門知識だけでなく、幅広い知識と能力を身に付けるとともに、柔軟な思考力及び問題解決能力を有する「理学スペシャリスト」として、社会が直面する諸課題に積極的に取り組み、広く社会の発展に貢献することができる人材の育成を目指しています。

したがって理学部入学者には、以下の能力を求めます。

1. **（知識・技能）** 数学、理科の基礎知識及び論理的思考力を身に付けていること
国語、外国語、地理歴史又は公民、情報の基礎的な知識も有し、論理的文章を作成できること
2. **（知的関心）** 自然及び社会に起きている出来事に対する幅広い関心を有していること
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において、課題解決をめざして思考力・判断力・表現力を用いた経験がある、あるいはそのような経験をしたいという意欲を有していること
4. **（主体性）** 自然科学の分野において探究活動を行う意欲と主体性を有していること

| 理学部 理学科 数学・情報数理コース |
|---|
| コースとして入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー） 理学科数学・情報数理コースでは、数学を基礎として論理的思考力を養うとともに情報科学の手法も学び、真の分析能力・問題解決能力を持つ人材の育成を目指しています。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、特に数学Ⅲ及び数学Cまでの内容をしっかり学んでいることを求めます。表面的な解法パターンを覚えるのではなく、なぜそうなるかを粘り強く考え、その上で他の人に数式を用いて説明できる力を養うことが大切です。このような努力を積むことで数学自体の理解が自然に深まると考えています。 |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 数学Ⅲ及び数学Cまでの内容の理解度と数式を用いて説明する能力 3) 数学・情報数理に対する関心の深さ、思考力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、数学や理科に関する課題研究などの経験 |
| 評価方法 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。 イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。 |

| 理学部 理学科 物理学コース |
|--|
| コースとして入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー） 物理学は、物質の性質をはじめ、物質のミクロな根源である素粒子からマクロな宇宙まで、幅広い対象を扱います。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、これらを深く学ぶ際の原動力となる、自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力を、様々な教科を通じて育てていることを求めます。また、物理学は、物理現象の定式化とその検証による精密化を通じて発展してきた積み上げ型の学問です。その修得には、目の前の困難に向き合っ てねばり強く取り組む姿勢が必要です。 |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 物理学の基本的知識、基礎的素養及び数学的思考力 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考能力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験 |
| 評価方法 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。 イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。 |

| 理学部 理学科 化学コース |
|---|
| コースとして入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー） 化学は、原子・分子・化合物など、物質を通して自然現象の理解とその応用を行う学問です。化学コースでは、種々の物質の構造、反応、性質及び自然界における循環などのしくみを化学的に理解し、化学の知識と技術を活かして社会に貢献する意欲を有することを求めます。 したがって、理学部アドミッション・ポリシーの内容に加え、理系科目全般を学び、自然現象に対する論理的思考力と知的好奇心を育てていることを求めます。化学については基本的な概念や原理を理解し、化学の法則に従って観測される現象を説明できることが求められます。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。 |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 化学の基本的知識と思考力 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験 |
| 評価方法 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。 イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。 |

| 理学部 理学科 生物科学コース | |
|--------------------------------------|--|
| コースとして入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>今日、社会のいたる所で生物学に関する知識と思考力が求められています。生物科学コースでは、さまざまな生命現象や生物の多様性への強い興味と関心、それらに関する未知の課題に積極的に取り組む姿勢を求めています。また、柔軟な思考力を持ち、科学技術や社会の発展に貢献する意欲を有することを求めます。</p> <p>したがって、入学者には特に、大学での学修に必要な基礎学力と論理的思考力を備えていることを求めます。「生物基礎」の全ての範囲及び「物理」、「化学」、「生物」のいずれかの科目を学び、理学分野の基礎を確実に身に付けていることが必要です。また、論理的思考及びコミュニケーションのために必要な言語力を身に付けていることを求めます。</p> |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 理科の基本的知識と思考力 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験 |
| 評価方法 | <p>【私費外国人留学生選抜】</p> <p>ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。</p> <p>イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。</p> |

| 理学部 理学科 地球環境科学コース | |
|--------------------------------------|---|
| コースとして入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>理学科地球環境科学コースでは、地球及び太陽系の起源・歴史やそこで生じる様々な現象に加え、社会に直接関係するグローバル及び地域的な環境問題や様々な自然災害などについて学び、研究します。</p> <p>したがって、入学者には特に、地球・太陽系における様々な現象や環境問題・自然災害に対する強い興味・関心、自ら学んでいく意欲及びそれを理解するために必要となる基礎学力を求めます。さらに、地球環境科学の課題に取り組むためには、論理的思考力・判断力及び広い視野が必要です。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることが必要です。</p> |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 理科の基本的知識と思考力 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験 |
| 評価方法 | <p>【私費外国人留学生選抜】</p> <p>ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。</p> <p>イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。</p> |

| 理学部 理学科 総合理学コース | |
|--------------------------------------|--|
| コースとして入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>自然界の様々な現象は、物理・化学・生物・地学・数学という基本的な学問分野に留まらず、それらの分野の間に横断的に広がっています。総合理学コースでは、複数分野の基礎を幅広く学んだ上で自らの専門を定め学修していくことにより、学際的視点を養いつつ、専門知識を活かして科学の諸問題の解決に挑戦できる能力の育成を目指しています。</p> <p>したがって、入学者には、幅広い自然科学現象、特に複数の科学領域に関する強い興味・関心、自ら学んでいく意欲及びそれを理解するために必要となる基礎学力が求められます。さらに、科学的な課題に取り組むためには、論理的な思考力・判断力及び広い視野が必要です。また、自分の考えを正確に伝えるための言語力と表現力を身に付けていることも必要です。</p> |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、外国語、情報に関する基礎学力。特に、数学、理科を重視します。 2) 物理、化学、生物、地学のいずれかに関する基本的知識と思考力 3) 自然に対する幅広い好奇心や柔軟な思考力、判断力、表現力 4) コースでの学修意欲、大学での学修に必要なコミュニケーション能力、理科や数学に関する課題研究などの経験 |
| 評価方法 | <p>【私費外国人留学生選抜】</p> <p>ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。</p> <p>イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。</p> |

工学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

工学部では、世界的視野で未来に向かってはばたく科学技術を創造する拠点として絶えず前進しながら、工学系専門技術者として、人々と協働して課題解決をめざし、社会の持続的な発展に貢献し、地域の活性化に自ら進んで取り組む、高度科学技術を実践する人材を育成しています。

したがって、工学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 工学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）** 工学及びその周辺分野における地域から地球に至るまでの様々な規模での社会の課題に対する幅広い知的関心
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において、工学について他者と共に課題解決をめざした経験及びそのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいはそれらを身に付けたいという意欲
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、工学に関して多様な人々とコミュニケーションを取りながら協働して主体的に活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲

上記でいう工学には、数学・理科・情報などの工学の基礎も含まれます。

| 工学部 機械システム工学科 | |
|--|---|
| 学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>機械システム工学は従来の機械工学と情報工学の高度な融合により、自動車・鉄道などの交通機械や火力・風力・水力・原子力発電システムなどの社会インフラを支えるエネルギー機械、人工知能・ロボット・医療機器・介護機器などの人の活動を支援する機械、これらの機械を作り出すための材料加工や設計・製造システムなど、わたしたちの生活に役立つ最先端の機械システム技術を創造する学問です。機械システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での機械システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って機械システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p> |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 機械システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。 イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。 |

| 工学部 電気電子システム工学科 | |
|--|--|
| 学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>電気電子システム工学は、目に見えない電子や電磁波を高度にコントロールして、電子デバイスや電気機器の開発・設計、電力や情報の創生・伝送・蓄積・制御などに応用する学問分野です。電気電子システム工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での電気電子システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って電気電子システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p> |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 電気電子システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。 イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。 |

| 工学部 物質科学工学科 | |
|-------------------------------------|--|
| 学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>物質科学工学科では、金属、有機・無機物質、セラミックス、半導体、高分子、医薬、農薬、生体物質、生体材料、医用材料など多岐にわたる物質の構造と機能を原子・分子レベルで理解することで、新しい物質や材料の設計・製造およびハイブリッド化への応用を可能にし、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での物質科学工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って物質科学工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p> |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 物質科学工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲 |
| 評価方法 | <p>【私費外国人留学生選抜】</p> <p>ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。</p> <p>イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。</p> |

| 工学部 情報工学科 | |
|-------------------------------------|---|
| 学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>コンピュータとインターネットは流通・金融・製造など社会のさまざまな分野で必要不可欠であり、これらを合理的に扱うためにソフトウェアが必要です。情報工学は、情報の発生・伝達・収集・蓄積・処理を扱い、情報を体系的に管理する総合的な学問です。情報工学科では、世界で活躍できるこの分野の技術者の育成を目的として教育を行います。</p> <p>したがって、大学での情報工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って情報工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p> |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 情報工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲 |
| 評価方法 | <p>【私費外国人留学生選抜】</p> <p>ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。</p> <p>イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。</p> |

| 工学部 都市システム工学科 | |
|-------------------------------------|---|
| 学科として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | <p>理想の都市は「安全」「環境」に優しく「快適」な空間であることが望まれます。都市システム工学科では、この「安全」「環境」「快適」の3要素をシステムとして扱うため、土木工学、環境工学、建築学および都市計画学などを学修します。そして、地域から世界まで幅広い分野で活躍できる技術者の育成を目指した教育を行います。</p> <p>したがって、大学での都市システム工学分野の学修を行うための基礎学力、特に十分な数学、理科、英語の学力を持ち、主体性を持って都市システム工学に関する問題を発見し、解決をめざしていく意欲と思考力・判断力を持つ学生を求めます。自分の考え方を整理して伝える表現力、協働して課題に取り組むコミュニケーション力も身に付けてきてほしいと願います。</p> |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | <ol style="list-style-type: none"> 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力。特に数学、理科、英語を重視します。 2) 都市システム工学に関わる課題に対する関心と学修意欲 3) 様々な課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力 4) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲 |
| 評価方法 | <p>【私費外国人留学生選抜】</p> <p>ア) 日本留学試験 主に1)の一部を評価します。</p> <p>イ) 面接 主に2)、3)及び4)を評価します。</p> |

農学部

[学部として入学者に求める能力・資質（アドミッション・ポリシー）]

農学部では、グローバル社会における農業・食料問題を理解して、国際的な視点から食料・食品の高度化、農業を核とした新産業の創出に主体的かつ意欲的に取り組み、地域の農業と地域コミュニティの活性化を支える実務型農学系人材を育成します。

したがって、農学部において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **（知識・技能）** 農学部における専門分野での学修に必要な基礎学力
2. **（知的関心）** 農学及びその周辺分野のみならず、社会の課題全般に対する幅広い知的関心
3. **（思考力・判断力・表現力）** これまでの学習と生活において、農業、環境、食料の課題について他者と共に課題解決を目指した経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. **（主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）** これまでの学習と生活において、農業体験やボランティア活動などに参加し、世代や国籍を超えた多様な人々と協働して主体的に活動した経験があること、あるいはそのような活動をする意欲を有していること

| 農学部 食生命科学科 | |
|-------------------------------------|--|
| 学科として入学者に求める能力・資質 （アドミッション・ポリシー） | 食生命科学科では、生命科学や食品の加工、流通、安全性に関する知識や技能を修得し、食料・食品分野で国際的に活躍できる人材を育成します。 したがって、食品科学と生命機能を学ぶ基礎学力を持ち、農業、環境、食料についての課題を理解し、主体性を持って解決へ導く意欲を持つ学生を求めます。国内外の多様な人々と協働しながらグローバルな視点で課題を探究する場もありますので、自分の考え方を整理して伝える力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。 |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物・化学、英語における十分な学力 3) 安全な食の実現と生命機能の解明に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題と向き合う協働体験や意欲 6) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1) の一部を評価します。 イ) 面接 主に3) から6) までを評価します。 |

| 農学部 地域総合農学科 応用植物科学コース | |
|--------------------------------------|---|
| コースとして入学者に求める能力・資質 （アドミッション・ポリシー） | 地域総合農学科応用植物科学コースでは、農作物の栽培や品種改良、病気や害虫の防除に関する知識や技能を主に修得し、農産物の国際競争力の強化や高品質・高付加価値生産などに対応した、新しい時代の植物生産技術の発展に貢献する人材を育成します。 したがって、生物学を中心とした幅広い基礎学力を持ち、地域の発展や農業の国際化に、主体的に取り組む意欲を持った学生を求めています。世代や国境を超え人々と議論しながらの実践的な学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。 |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な生物又は化学、英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する新しい時代の農業技術に対する関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲 6) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1) の一部を評価します。 イ) 面接 主に3) から6) までを評価します。 |

| 農学部 地域総合農学科 地域共生コース | |
|--|--|
| コースとして 入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー) | 地域総合農学科地域共生コースでは、美しい農村の景観をまもり、地域・農産物のブランド力を高め、災害に強い地域をデザインする技術や政策に関する知識・技能を修得し、豊かな地域の未来を創造できる人材を育成します。 したがって、理系科目、文系科目を問わない幅広い基礎学力・興味を持ち、未来に向けた地域づくりと、世界に羽ばたく農業の実現に意欲を持つグローバル志向の学生を求めます。世代や国境を超えた人々と議論や協働をおこなう学びもありますので、自分の考えを伝える表現力と英語力を身に付けてきてほしいと願います。 |
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | 1) 国語、地理歴史又は公民、数学、理科、英語、情報の基礎学力 2) 専門分野の学修に必要な物理又は化学又は生物、英語における十分な学力 3) 地域の発展に貢献する技術や政策に対する幅広い関心と学修意欲 4) 農業にかかわる多様な課題を総合的に理解するための論理的思考力と判断力 5) グループで課題に向き合う協働体験や意欲 6) 主体性を持って多様な人々と協働して活動した経験、あるいはそのような活動をしたいという意欲 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1) の一部を評価します。 イ) 面接 主に3) から6) までを評価します。 |

地域未来共創学環

[学環として入学者に求める能力・資質 (アドミッション・ポリシー)]

地域未来共創学環では、ビジネスとデータサイエンスを中心とした分野・文理横断の学びから、地域課題の解決や、新たな価値創出に挑戦する実践的な人材を育成します。

したがって、地域未来共創学環において入学者に求める能力・資質は以下のとおりです。

1. **(知識・技能)** 地域未来共創学環における分野・文理横断的な学修に必要な基礎学力を有していること
2. **(知的関心)** 社会や地域における様々な課題の背景や解決に対する知的関心を有していること
3. **(思考力・判断力・表現力)** これまでの学習と生活において、多様な人々と共に課題解決をめざした経験があり、そのための基礎的な思考力・判断力・表現力を有していること、あるいは、それらを身に付ける意欲を有していること
4. **(主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度)** これまでの学習と生活において、多様な人々とコミュニケーションを積極的に行い、地域課題の解決を意識して主体的に活動した経験があること、あるいは地域課題の解決に向けて探究する意欲を有していること

| 地域未来共創学環 | |
|--------------------|---|
| 入学者選抜において評価する能力・成果 | 1) 分野・文理横断的な学修に必要な国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語、情報の基礎学力 2) 社会や地域における様々な課題の背景や解決に対する関心と学修意欲 3) 多様な人々と協働して地域課題を解決していくための基礎的な思考力・判断力・表現力、あるいは、それらを身に付ける意欲 4) 多様な人々と協働するために必要なコミュニケーション能力と、地域課題の解決を意識して主体的に活動した経験、あるいは地域課題の解決に向けて探究する意欲 |
| 評価方法 | 【私費外国人留学生選抜】 ア) 日本留学試験 主に1) の一部を評価します。 イ) 面接 主に2) 、3) 及び4) を評価します。 |

1. 募集人員

| 学部・学環 | 学科・課程等 | 募集人員 | |
|----------|-----------------------------------|------------|-----|
| 人文社会科学部 | 現代社会学科 | 4 | |
| | 法律経済学科 | 4 | |
| | 人間文化学科 | 3 | |
| | 計 | 11 | |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程教科教育コース 言語・社会教育系英語選修 | 若干名 | |
| | 養護教諭養成課程 | 若干名 | |
| 理学部 | 理学科 | 数学・情報数理コース | 若干名 |
| | | 物理学コース | 若干名 |
| | | 化学コース | 若干名 |
| | | 生物科学コース | 若干名 |
| | | 地球環境科学コース | 若干名 |
| | | 総合理学コース | 若干名 |
| 工学部 | 機械システム工学科 | 若干名 | |
| | 電気電子システム工学科 | 若干名 | |
| | 物質科学工学科 | 若干名 | |
| | 情報工学科 | 若干名 | |
| | 都市システム工学科 | 若干名 | |
| 農学部 | 食生命科学科 | 4 | |
| | 地域総合農学科 | | |
| 地域未来共創学環 | | 若干名 | |
| 合計 | | 15 | |

※農学部地域総合農学科は、出願時に応用植物科学コース又は地域共生コースのいずれかを選択してください。なお、どちらのコースも選抜方法に違いはありません。

2. 出願要件

下記の（１）から（４）までの要件を全て満たす者

- （１）日本国の国籍を有しない者のうち日本国の永住許可を取得していない者
 ※日本国の国籍を有しない者であっても、日本国の高等学校等を卒業した者又は令和８年３月卒業見込みの者は、一般の入学志願者と同じ扱いになり、この選抜には出願できません。
- （２）日本国の出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格を有する者又は取得できる見込みの者
- （３）次の①、②のいずれか一つを満たす者
 - ①外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和８年３月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ②次のいずれか一つの資格を有する者
 - ア) スイス民法典に基づく財団法人である国際バカロレア事務局が授与する国際バカロレア資格
 - イ) ドイツ連邦共和国の各州において大学入学資格として認められているアビトゥア資格
 - ウ) フランス共和国において大学入学資格として認められているバカロレア資格
 - エ) グレート・ブリテン及び北アイルランド連合王国において大学入学資格として認められているGCE Aレベル(General Certificate of Education Advanced Level)資格又は国際Aレベル(International A Level)資格を有する者
 - オ) 欧州連合構成国において大学入学資格として認められている「欧州バカロレア資格」を有する者
- （４）独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験（令和７年６月実施回又は令和７年11月実施回。出題言語は日本語とする）を受験し、各学部、学科・課程等で設定する基準をp.16の表のとおり満たしている者
 ※本学の各学部、学科・課程等が指定する日本留学試験の教科・科目及びその他の必要な試験を受験しなかった者は出願できません。

<出願要件として必要とする日本留学試験の科目及び基準点>

表中の○印は受験を要することを示し、×印は受験を要しないことを示します。

| 学部、学科・課程等 | | 日本留学試験（出題言語：日本語） | | | | 得点要件 |
|-----------|-------------------------------------|------------------|------|---------------|---------------|---|
| | | 日本語 | 総合科目 | 理科 | 数学 | |
| 人文社会科学部 | 現代社会学科 | ○ | ○ | × | × | 次の①～③の全てで平均点以上取得していること。 ①日本語の聴解・聴読解、読解の合計点 ②日本語の記述の得点 ③総合科目の得点 |
| | 法律経済学科 | | | | | |
| | 人間文化学科 | | | | | |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修 | ○ | × | × | × | 次の①及び②をともに平均点以上取得していること。 ①日本語の聴解・聴読解、読解の合計点 ②日本語の記述の得点 |
| | 養護教諭養成課程 | | | | | |
| 理学部 | 理学科 | ○ | × | ○ (*) | ○ (コ-2) | 日本語（聴解・聴読解、読解、記述の合計点）の得点を300点以上取得していること |
| | 数学・情報数理コース | | | | | |
| | 物理学コース | | | | | |
| | 化学コース | | | | | |
| | 生物科学コース | | | | | |
| | 地球環境科学コース | | | | | |
| 総合理学コース | | | | | | |
| 工学部 | 機械システム工学科 | ○ | × | ○ (物理及び化学) | ○ (コ-2) | 次の①～③の合計点で550点以上取得していること。 ①日本語（聴解・聴読解、読解、記述の合計点） ②理科（物理及び化学） ③数学（コ-2） |
| | 電気電子システム工学科 | | | | | |
| | 情報工学科 | | | | | |
| | 都市システム工学科 | | | | | |
| | 物質科学工学科 | ○ | × | ○ (*) | ○ (コ-2) | 次の①～③の合計点で550点以上取得していること。 ①日本語（聴解・聴読解、読解、記述の合計点） ②理科（物理・化学・生物のうち2科目） ③数学（コ-2） |
| 農学部 | 食生命科学科 | ○ | × | ○ (*) | ○ (コ-1又は2) | 次の①～③の合計点で550点以上取得していること。 ①日本語（聴解・聴読解、読解、記述の合計点） ②理科（物理・化学・生物のうち2科目） ③数学（コ-1又は2） |
| | 地域総合農学科 | | | | | |
| 地域未来共創学環 | | ○ | ○ | × | ○ (コ-2) | 次の①～③の全てで平均点以上取得していること。 ①日本語の聴解・聴読解、読解の合計点 ②日本語の記述の得点 ③総合科目の得点 |

(*) 物理・化学・生物から2科目を自由選択する。

3. 選抜方法等

出願要件で指定する日本留学試験の教科・科目の成績及び下記の表に示す学力検査等の結果を総合して評価します。

なお、本学の各学部、学科・課程等が課す面接を受験しなかった者は、合否の判定対象になりません。

| 学部、学科・課程等 | | 学力検査等 | 選抜方法等 | |
|-----------|---|-------|--|---|
| 人文社会科学部 | 現代社会学科 | 面接 | 個人面接を10～15分程度で行い、志望動機、志望学科の教育研究分野への学習意欲・適性、表現力をみます。なお、面接の参考とするため、面接の前に日本語で作文を書かせます。 | |
| | 法律経済学科 | | | |
| | 人間文化学科 | | | |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修 | 面接 | 面接は口頭試問を含み、個人面接を10～20分程度で行います。志望動機、教育研究分野への学習意欲・適性、表現力をみるため、日本語及び英語による質疑応答を含みます。口頭試問の質問時には文書等で提示する場合や、解答時には黒板等への記述を求める場合があります。 | |
| | 養護教諭養成課程 | | 面接は口頭試問を含み、個人面接を10～20分程度で行います。志望動機、教育研究分野への学習意欲・適性、表現力をみるため、日本語による質疑応答を含みます。 | |
| 理学部 | 理学科 | 面接 | 面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、数学及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。 | |
| | | | 数学・情報数理コース | |
| | | | 物理学コース | 面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、数学、物理及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。 |
| | | | 化学コース | 面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、化学及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。 |
| | | | 生物科学コース | 面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、生物及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。 |
| | | | 地球環境科学コース | 面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、地球科学及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。 |
| 総合理学コース | 面接は口頭試問を含み、個人面接を20分程度で行い、志望動機や適性、勉学意欲及び日本語による会話能力をみます。同時に口頭試問では、物理、化学、生物、地球科学のうち出願時に届け出た2科目及び英語の基礎学力と日本語表現の適切さをみます。口頭試問の解答時には、黒板等への記述を求める場合があります。 | | | |

| 学部、学科・課程等 | | 学力検査等 | 選抜方法等 |
|-----------|-------------|-------|---|
| 工学部 | 機械システム工学科 | 面接 | 日本語による個人面接を10分程度で行い、機械システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。 |
| | 電気電子システム工学科 | | 日本語による個人面接を10分程度で行い、電気電子システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。 |
| | 物質科学工学科 | | 日本語による個人面接を10分程度で行い、物質科学工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。 |
| | 情報工学科 | | 日本語による個人面接を10分程度で行い、情報工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。 |
| | 都市システム工学科 | | 日本語による個人面接を10分程度で行い、都市システム工学に対する知的関心、意欲、適性を評価し、また、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度などの資質をみます。 |
| 農学部 | 食生命科学科 | 面接 | 個人面接を15分程度で行い、それぞれの学科で学ぶ目的意識、一般知識及び日本語能力をみます。 |
| | 地域総合農学科 | | |
| 地域未来共創学環 | | 面接 | 日本語による個人面接を15～20分程度で行い、志望動機、本学環で学ぶことへの学習意欲、社会や地域の課題への関心などをみることを主眼とします。 |

4. 配点

表中の斜線は、「学力検査等を課さないもの」又は「提出を要しないもの」を表します。（*1）は、「出願要件確認のために提出を求めるもの」を表します。（*2）は、面接の参考資料として利用することを表します。

| 学部等 | 学科等 | 日本留学試験 | | | | 出身学校 成績 証明書等 | 面接 | 合計 |
|---------|--|-----------|-----|----|------|--------------------|-----|-------|
| | | 日本語 | | | 総合科目 | | | |
| | | 聴解 聴読解 | 読解 | 記述 | | | | |
| 人文社会科学部 | 現代社会学科 | 200 | 200 | 50 | 200 | (*1) | 200 | 850 |
| | 法律経済学科 | 200 | 200 | 50 | 200 | (*1) | 100 | 750 |
| | 人間文化学科 | 200 | 200 | 50 | 200 | (*1) | 100 | 750 |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程 教科教育コース 言語・社会教育系 英語選修 | 200 | 200 | 50 | / | (*2) | 600 | 1,050 |
| | 養護教諭養成課程 | 200 | 200 | 50 | / | (*2) | 200 | 650 |

| 学部等 | 学科等 | 日本留学試験 | | | | | | | 出身学校 成績 証明書等 | 面接 | 合計 |
|-----|-------------|------------|-----|-----|---------------|---------------|-----|------|--------------------|-------|-------|
| | | 日本語 | | | 理科 | | | 数学 | | | |
| | | 聴解 聴読解 | 読解 | 記述 | 物理 | 化学 | 生物 | | | | |
| 理学部 | 理学科 | 数学・情報数理コース | 200 | 200 | 50 | 200 (100+100) | | 200 | (*2) | 300 | 1,150 |
| | | 物理学コース | 200 | 200 | 50 | 200 (100+100) | | 200 | (*2) | 300 | 1,150 |
| | | 化学コース | 200 | 200 | 50 | 200 (100+100) | | 200 | (*2) | 300 | 1,150 |
| | | 生物科学コース | 200 | 200 | 50 | 200 (100+100) | | 200 | (*2) | 300 | 1,150 |
| | | 地球環境科学コース | 200 | 200 | 50 | 200 (100+100) | | 200 | (*2) | 300 | 1,150 |
| | | 総合理学コース | 200 | 200 | 50 | 200 (100+100) | | 200 | (*2) | 300 | 1,150 |
| 工学部 | 機械システム工学科 | 200 | 200 | 50 | 100 | 100 | / | 200 | (*2) | 200 | 1,050 |
| | 電気電子システム工学科 | 200 | 200 | 50 | 100 | 100 | / | 200 | (*2) | 200 | 1,050 |
| | 物質科学工学科 | 200 | 200 | 50 | 200 (100+100) | | 200 | (*2) | 200 | 1,050 | |
| | 情報工学科 | 200 | 200 | 50 | 100 | 100 | / | 200 | (*2) | 200 | 1,050 |
| | 都市システム工学科 | 200 | 200 | 50 | 100 | 100 | / | 200 | (*2) | 200 | 1,050 |
| 農学部 | 食生命科学科 | 200 | 200 | 50 | 200 (100+100) | | 200 | (*2) | 200 | 1,050 | |
| | 地域総合農学科 | 200 | 200 | 50 | 200 (100+100) | | 200 | (*2) | 200 | 1,050 | |

| 学部等 | 学科等 | 日本留学試験 | | | | | 出身学校 成績 証明書等 | 面接 | 合計 |
|-----|----------|-----------|-----|----|------|-----|--------------------|-----|-------|
| | | 日本語 | | | 総合科目 | 数学 | | | |
| | | 聴解 聴読解 | 読解 | 記述 | | | | | |
| | 地域未来共創学環 | 200 | 200 | 50 | 200 | 200 | (*2) | 200 | 1,050 |

5.出願手続

(1) 出願期間

| | |
|---|--------------------------|
| インターネット出願登録期間及び 検定料支払期間 | 出願に必要な書類の提出期間 〈期間内必着〉 |
| 令和8年1月10日(土)00時00分 ～ 令和8年1月22日(木)16時30分まで | 令和8年1月20日(火)～22日(木) |

※出願に必要な書類の提出は、郵便局の窓口で書留・速達郵便にて学務部入試・高大連携課入学試験グループへ発送してください(令和8年1月22日(木)必着)。ただし、期限後に到着したもので、書留・速達郵便で郵便局の消印が令和8年1月20日(火)までのものについては受け付けます(※)。郵便事情等を十分考慮の上、余裕を持って発送してください。

なお、本学に直接持参して提出する場合は、提出期間中の各日9時から16時30分までの時間に受け付けます。持参による提出の最終受付は提出期間最終日の16時30分までとし、以降は持参による提出は受け付けできません。

※日本国外から直接出願する場合は、必ず令和7年12月12日(金)までに学務部入試・高大連携課入学試験グループ(電話 +81-29-228-8576又はE-mail ad-guide@ml.ibaraki.ac.jp)へ問い合わせてください。出願書類の郵送方法等についてご案内します。なお、この日以降のお問い合わせについては、内容によりお断りする場合がありますのでご了承ください。

また、出願書類が出願期間後に到着した場合でも、EMS(国際スピード郵便)を使用し、令和8年1月23日(金)までに本学に到着した場合のみ受け付けます。国際書留を使用しているものは無効となります。

(2) 出願の流れ

| | | |
|-----|-------------------------------|--|
| 手順① | インターネット出願登録 (詳細はp.22参照) | 本学ホームページから「インターネット出願サイト」にアクセスし、マイページの登録及び出願内容の登録を行ってください。 ※インターネット出願サイトの操作方法・検定料支払い方法に関する問い合わせ先 (株)キャリアタス「学び・教育」サポートセンター 電話 0120-202-079(平日10:00～18:00/土・日・祝日・年末年始を除く) その他の内容に関する問い合わせは、裏表紙記載の連絡先をご参照ください。 |
| 手順② | 検定料の支払い (詳細はp.23参照) | 手順①の後、インターネット出願サイトの指示に従って検定料をお支払いください。 |
| 手順③ | 出願に必要な書類の送付 (詳細はp.24～25参照) | 手順②の後、インターネット出願サイトから必要書類を印刷し、他のすべての必要書類とともに本学に送付してください。 |
| 手順④ | 受験票の印刷 (詳細はp.26参照) | 出願期間後にインターネット出願サイトから受験票が印刷できるようになります。受験票は志願者各自が印刷して、試験当日に持参してください。 |

※インターネット出願サイトでの入力、検定料の支払いだけでは、出願は受理されません。出願に必要な書類等が提出期間内に大学へ到着して、到着した書類に不備がなく、かつ、出願資格を有することが確認された時点で、出願が受理されます。なお、ご家庭にインターネット利用や印刷の環境が無い場合は、学校や公共図書館等のセキュリティ対策が信頼できる場所のインターネットサービスを利用する等の対応により、出願してください。インターネット出願の利用が難しい場合は、令和8年1月12日(月)までに、裏表紙の問い合わせ先(学務部入試・高大連携課入学試験グループ)へ相談してください。

(3) 事前準備

インターネット出願を行う前に、以下の事項を本学の「インターネット出願サイト」内にある「事前準備」と併せて必ず確認してください。

| 準備事項 | 内容 |
|-------------------------------------|--|
| パソコン等の動作環境 | <p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p><ブラウザ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Microsoft Edge 最新版 ・ Google Chrome 最新版 ・ Mozilla Firefox 最新版 ・ Apple Safari 最新版 <p><スマートフォン・タブレット等モバイル端末></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ iOS 12 以上 ・ Android OS 8 以上 ・ iPadOS 13 以上 <p>※ブラウザのタブ機能を使用して複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作はしないでください。なお、一部のモバイル端末からは画面が正常に表示されない場合がありますので、パソコンからの利用を推奨します。</p> |
| メールアドレスの用意及びメールの設定 | <p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。<u>このメールアドレスは入学手続等の連絡にも使用するため、大学入学まで使用できるもので、確実に受信可能なものを登録してください。登録後は、アドレスの変更を行わないでください。</u>なお、ドメイン指定受信を設定されている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p style="text-align: center;">@e-apply.jp (以下の①～⑤の連絡用) @vc.ibaraki.ac.jp (臨時連絡用)</p> <p>登録したメールアドレスに、以下のメールが送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①マイページ本登録への案内メール ②出願登録情報の入力完了時の自動送信メール ③検定料支払完了時の自動送信メール ④受験票の印刷を案内するメール ⑤その他連絡事項 |
| 志願者本人の写真(データ)の用意 | <p>インターネット出願登録にあたって、顔写真データ(2MBまで)が必要です。写真は本人確認に利用しますので、<u>出願前3か月以内に撮影した正面、上半身、脱帽、背景なしのカラー写真データを用意してください。</u></p> <p>【使用できない写真の例】 不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、複数名で写っている、画像に加工を施している、既に印刷等された写真を再度カメラ等で撮影・スキャンしているもの等。</p> |
| その他必要書類の用意 | <p>「学業成績証明書」、「国籍及び在留資格等を確認できる書類」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようにあらかじめ用意してください(p.24～25参照)。</p> |
| 角形2号封筒の用意 | <p>必要書類提出のために、市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を用意してください。</p> |
| 様式印刷の用意(プリンター、用紙等) | <p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、A4サイズ普通紙にカラー印刷する必要がありますので、カラープリンター及び印刷用紙(普通紙、PPC用紙、OA共用紙、コピー用紙等)を用意してください。印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません(個人情報の取り扱いには十分注意してください)。</p> |
| <該当者のみ> 障害等のある入学志願者の事前相談(p.29参照) | <p>障害等のある者で、受験上又は修学上の配慮を必要とする者は、事前に茨城大学アクセシビリティ支援室に相談してください。試験時間中、病気・負傷や障害等により補聴器等を使用したい場合においても、受験上の配慮申請が必要となります。</p> |

(4) 手順① インターネット出願登録

インターネット出願登録期間内に本学ホームページから「インターネット出願サイト」にアクセスし、「マイページ登録」ボタンをクリックして、出願に必要な情報を入力・登録してください。トップページ下段の「インターネット出願利用手順」及び学生募集要項をよく読んでから、入力・登録を開始してください。

| 手順 | |
|-------------|--|
| (1)サイトにアクセス | <p>本学ホームページ (https://www.ibaraki.ac.jp/) から、「インターネット出願サイト」にアクセス (p.1を参照し直接アクセスすることも可能です)。 トップページ「マイページ登録」ボタンをクリック。</p> <p style="text-align: center;">▼</p> |
| (2)マイページの登録 | <p>入力画面に沿って「メールアドレス」、「パスワード」及び「個人情報等」を登録してください。 ※メールアドレス登録時に、本登録案内のメールが届きます。</p> <p style="text-align: center;">▼</p> |
| (3)出願登録 | <p>出願にあたっては、<u>p.16の本学の各学部、学科・課程等が設定する日本留学試験の受験科目及び基準点について必ず確認した上で</u>、入力画面に沿って入力、登録をしてください。 ・選抜区分、志願学部、学科・課程等、コース ・志願者情報、出願資格(出身学校等)情報等 ・その他事項 ※日本国外から直接出願する場合は、必ず令和7年12月12日(金)までに学務部入試・高大連携課入学試験グループ(電話 +81-29-228-8576又はE-mail ad-guide@ml.ibaraki.ac.jp)へ問い合わせてください。 ※志願者連絡先の「電話番号」は、提出書類に不備がある場合等の緊急連絡時に使用しますので、志願者本人と確実に連絡が取れる番号を入力してください。 ※顔写真データ(p.21参照)のアップロードも、ここでを行います。画面上で写真サイズを切り取る(トリミング)こともできます。 ※農学部地域総合農学科に出願の際は、応用植物科学コース又は地域共生コースのいずれかを選択してください。なお、どちらのコースも選抜方法に違いはありません。</p> <p style="text-align: center;">▼</p> |
| (4)申込内容の確認 | <p>入力が完了すると、入力内容の確認画面が表示されます。内容をよく確認して、誤りがなければ「上記内容で申込みする」ボタンをクリックしてください。 これ以降は入力内容の変更はできませんので、申込みの前に必ず確認してください。</p> <p style="text-align: center;">▼</p> |
| (5)登録完了 | <p>画面に「受付番号」が表示されたら入力は完了です。引き続き「検定料支払手続き」に進んでください。 登録したメールアドレス宛に、登録完了メールが届きます。メールにも記載される受付番号は、入学手続終了まで大切に保管してください。 ※「受付番号」は、受験番号ではありません。受験番号は出願期間終了後に発行される「受験票」に記載されます。</p> |

【インターネット出願登録に関する注意事項】

- インターネット出願登録(Web入力)を完了しても、まだ出願手続きは完了していません。
引き続き、検定料の支払い及び出願に必要な書類の提出を、必ず期間内に行ってください。
- インターネット出願登録後に、その日を含む4日以内の23時59分までに検定料の支払手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータは支払い期限超過となり、それ以降の手続きが出来なくなります。
- インターネット出願登録後は、登録内容の修正及び変更はできませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払いの前に誤りに気付いた場合は、検定料を支払わずに、もう一度新たに出願登録をやり直してください(誤った出願申込データは、必ずマイページから削除してください)。
- 顔写真データは、出願写真として適切でないと判断された場合には、再提出となる場合があります。

(5) 手順② 検定料の支払い

検定料の支払いは、手順①のインターネット出願登録後に行います。出願登録後に、以下のいずれかの手順で支払手続きに進んでください。

○出願登録完了画面から引き続き、「引き続き支払う」をクリックする。

○インターネット出願サイトからログインして、マイページの「お支払い」をクリックする。
支払方法を選択して、支払期間内に検定料の支払手続きを行ってください。

| 検定料 | 支払期間 |
|---------|---|
| 17,000円 | ●令和8年1月10日(土)～令和8年1月22日(木)16時30分まで ●上記期間内で、インターネット出願登録した日を含む4日以内の23時59分までに支払ってください。ただし、インターネット出願登録した日から4日に満たず1月22日(木)16時30分になった場合は、それ以降の支払いはできませんので注意してください。 |

※検定料支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は、支払手続き画面に表示されます。

| 支払方法 | 取扱機関等 |
|--|--|
| クレジットカード (出願登録時に支払い完了) | VISA/MasterCard/JCB/AMERICAN EXPRESS/MUFGカード/DCカード/UFJカード/NICOSカード |
| ネットバンキング (Webで手続き完了) | ペイジー対応ネットバンキング/PayPay銀行/楽天銀行/住信SBIネット銀行/auじぶん銀行 ※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です。 |
| コンビニエンスストア (各コンビニ端末画面の表示に従って必要情報を入力し、支払う) | セブン-イレブン/ローソン、ミニストップ(Loppi) /ファミリーマート(マルチコピー機) /デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア /セイコーマート |
| 郵便局・銀行のATM (ATMの画面表示に従って必要情報を入力し、支払う) | ペイジー対応銀行ATM(ゆうちょ銀行も含まれます) |

【検定料支払いに関する注意事項】

1. 検定料支払いを完了しても、まだ出願手続きは完了していません。引き続き、出願に必要な書類の印刷及び提出を、期間内に必ず行ってください。
なお、インターネット出願サイトからの必要書類の印刷は、検定料支払い前にはできません。
2. 支払手続きに関する詳細・注意点等は、インターネット出願サイトのトップページ「お支払い方法」も併せて参照してください。
3. 支払期間を過ぎると、検定料を支払うことはできません。
4. 支払期間内に検定料の支払手続きが行われなかった場合は、出願登録したデータは支払い期限超過となり、それ以降の手続きが出来なくなります。
5. クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は、志願者本人でなくても構いません。

【検定料の返還について】

次のア)、イ)、ウ)の場合を除き、原則、支払われた検定料はいかなる理由があっても返還できません。

ア) 検定料を支払い、出願に必要な書類を提出したが、出願が受理されなかった場合

イ) 検定料を支払ったが、出願に必要な書類を提出しなかった場合

ウ) 出願受付後、日本留学試験において本学が指定する要件(p.15～16参照)を満たしていないことが判明した場合

返還される金額：

ア)、イ)の場合検定料全額

ウ)の場合13,000円

ただし、ア)、イ)、ウ)とも返還される金額は上記のものから振込手数料を差し引いた金額になります。

検定料の返還に該当する方は、裏表紙の入学選抜に関する問い合わせ先に申し出て、所定の手続きをしてください。

(6) 手順③ 出願に必要な書類の送付

出願に際して提出する必要書類は、下表のとおりです。出願受理後は、出願書類及び出願登録事項の変更は認めません。出願書類及び出願登録事項の内容と相違する事実が判明した場合は、受験を許可しないことがあります。合格者発表後又は入学後であっても、合格又は入学を取り消すことがありますので注意してください。

出願に必要な書類の送付は、手順②の検定料の支払い後に行います。インターネット出願サイトのマイページから、「出願書類」を印刷し、「出願書類提出用宛名シート」を剥がれないように貼付した市販の角形2号封筒(240mm×332mm)に、出願書類及びその他必要な書類を同封して、提出期間内に到着するよう書留・速達郵便にて、学務部入試・高大連携課入学試験グループへ送付してください。

| 提出書類等 | 記入方法・注意事項等 |
|--------------------------------|---|
| 入学志願者名票 | インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください。 |
| 写真票 | インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください(入学志願者名票と同時に印刷できます)。切り取り等をせずに、A4サイズのまま提出してください。 |
| 出願書類提出用宛名シート | インターネット出願サイトからA4サイズでカラー印刷してください(入学志願者名票と同時に印刷できます)。角形2号封筒の表面に、剥がれないように全面のり付けで貼付してください。 |
| 履歴書 | 本学所定の様式に従って、A4サイズで印刷して作成してください。志願者本人が直筆で、必要事項を漏れなく記入してください。様式は本学ホームページ内「入試情報」の「令和8年度(2026年度)入学者選抜」のページからダウンロードしてください。 |
| 学業成績証明書 | 日本語以外の証明書には日本語訳を必ず添付してください。翻訳者は問いませんが、間違いのないようにしてください。 <p.15の出願要件の(3)、①に該当する者> |
| 卒業(修了)証明書 又は卒業(修了) 見込証明書 | 最終出身学校長(日本国の高等学校に相当する学校)が証明したもの。 【注意事項】 ・証明書は原本に限ります(コピーは不可です)。なお、原本が1通しか発行されない場合は、p.25の出願に必要な書類に関する注意事項を参照して、原本を提出してください。 |
| 資格試験の証明書 | 日本語以外の証明書には日本語訳を必ず添付してください。翻訳者は問いませんが、間違いのないようにしてください。 <p.15の出願要件(3)、②、ア)に該当する者> 以下の2点 ・国際バカロレア資格証書(コピー) ・国際バカロレア資格最終試験6科目の成績評価証明書(原本) <p.15の出願要件(3)、②、イ)に該当する者> ・一般的大学入学資格証明書(コピー) <p.15の出願要件(3)、②、ウ)に該当する者> 以下の2点 ・バカロレア資格証書(コピー) ・バカロレア資格試験成績証明書(原本) <p.15の出願要件(3)、②、エ)に該当する者> 以下のうちどちらか1点 ・GCE Aレベル資格試験の成績評価証明書(コピー) ・国際Aレベル資格試験の成績評価証明書(コピー) <p.15の出願要件(3)、②、オ)に該当する者> 以下の2点 ・欧州バカロレア資格証書(コピー) ・欧州バカロレア資格試験成績証明書(原本) |

| | |
|--------------------------|--|
| 国籍及び在留資格等を確認できる書類 | <p>次のいずれかを提出してください。</p> <p>①在留カードの表裏両面のコピー</p> <p>②個人番号が記載されていない「住民票の写し」(原本) ※出願期間最終日より3カ月以内に発行されたもので、国籍、在留資格及び在留期間が明記されていること。</p> <p>③日本国外から直接出願する場合及び短期滞在の資格で入国している場合は、<u>旅券(パスポート)の氏名及び顔写真の載っているページのコピー</u></p> |
| 日本留学試験の成績確認書 | 出願にあたって利用する日本留学試験の受験回(令和7年6月又は令和7年11月)の 成績確認書(成績通知書も可)のコピーを提出してください 。提出された成績確認書の受験回について、日本学生支援機構に成績を請求し、選抜に利用します。 |
| 出願書類提出用角形2号封筒 | 市販の角形2号封筒(240mm×332mm)を各自で用意し、出願に必要な書類をすべて封入し、宛名シートを貼付して郵送、提出してください。 |

【出願に必要な書類に関する注意事項】

1. 出願に必要な書類を提出期間(必着)内に提出し、本学で書類に不備がないことが確認された時点で、出願手続き完了となります。提出期間内に必要書類が届かなかった場合は受付しませんので、余裕を持った出願を心がけてください。
2. 出願受理後は、提出された書類は原則返却しません。ただし、「**学業成績証明書**」、「**卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書**」、「**資格試験の証明書**」について、原本が1通しか発行されず、返却を希望する場合は、「返却希望」と書いた付箋紙を当該書類に付し、590円分(書留料金)の切手を貼った返信用封筒(長形3号/120mm×235mm)に宛先を明記し、出願書類と一緒に提出してください。封筒の大きさが長形3号以外になる場合や、日本国外へ送付する場合には郵送料が変わりますので、よくご確認ください(郵送料が足りない場合は、返却出来ない場合があります)。なお、郵便料金の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。また、原則出願期間終了後の返却の受付はいたしません。原本が1通しか発行されず、本学からの返却を待っていたのでは他の手続等に支障がある場合に限り、**最終出身学校(日本国の高等学校に相当する学校)の校長、出身国の在日大使館等、在籍する日本語学校の校長のいずれかにより原本証明を受けた写しの提出も可能とします**。ただし、この場合においては、入学時に原本の提出を求めることがあります。**出願書類の内容と相違する事実が判明した場合は、合格者発表後又は入学後であっても、合格又は入学を取り消すことがあります。**
3. 書類に印字された「学部」等の出願情報を手書きで修正することはできません。
4. 提出された必要書類に不備・不足等がある場合は、出願を受理できない場合があります。
5. 提出書類に必要な事項を記入する際は、黒インクのペン又は黒ボールペンを使用してください。
6. 出願に必要な書類を提出する際は、1枚の封筒に志願者1名の書類のみを入れて送付してください。
7. インターネット出願サイト及び本学ホームページから各自でダウンロードする書類は、あらかじめA4サイズの数値になっていますので、プリンタ等の「ページ処理」設定での「ページの拡大/縮小」は「なし」、「自動回転と中央配置」に「チェック」を入れて、印刷してください。「用紙に合わせる」や「大きいページを縮小」等に設定した場合、正しいサイズで印刷されないことがあります。

(7) 手順④ 受験票の印刷

「**受験票**」は、出願期間後にインターネット出願サイト上で発行され、印刷できるようになります。マイページから印刷して試験当日に「**日本留学試験の受験票**」と併せて持参してください（**本学からは発送されません**）。

また、試験当日の注意事項や入室開始時刻、遅刻限度時刻等を記した「**受験者心得**」も受験票と同時に発行されますので、印刷して、必ず内容を確認してください。

◆ 受験票の印刷開始日：令和8年1月27日（火）

| 試験当日に持参するもの | |
|--|--------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 本学の「 受験票 」 | 各自で印刷して、切り取り線に沿って切って持参してください。 |
| <input type="checkbox"/> 「 日本留学試験の受験票 」 | 出願書類として提出した受験回のものを持参してください。 |
| <input type="checkbox"/> 「 受験者心得 」 | 受験票と同時にダウンロード・印刷の上、必ず確認して試験に臨んでください。 |

【**受験票に関する注意事項**】

1. 受験票を印刷後、記載内容を必ず確認してください。受験票が印刷開始日以降になっても印刷できない場合、または出願登録した内容と異なっている場合は、裏表紙の問い合わせ先（学務部入試・高大連携課入学試験グループ）へ令和8年1月30日（金）までに連絡してください。
また、パソコン等の画面上の受験番号と、実際に印刷された受験票の受験番号が、一致していることを必ず確認してください。
2. **実際に試験を受ける「試験場」が受験票に記載されますので、必ず確認し、間違えないよう到来してください。**受験票に記載の試験場以外では、いかなる理由があっても受験を認めません。
3. インターネット出願登録した際の受付番号は、受験番号ではありません。試験当日は受付番号での受験はできませんので、必ず受験票を持参してください。
4. 試験当日に、スマートフォン等での画面表示による受験票の提示は認めません。必ず印刷した受験票を持参してください。
5. 受験票は入学手続き時に必要となりますので、紛失しないように大切に保管してください。

6. 試験日程・試験場

(1) 試験日程

| 学部、学科・課程等 | | 令和8年2月14日(土) | |
|------------|-----------------------------------|-------------------|--------------|
| 人文社会科学部全学科 | | 13:00~13:30 作文 | 作文終了後～ 面接 |
| 教育学部 | 学校教育教員養成課程教科教育コース 言語・社会教育系英語選修 | 13:00～ 面接 | |
| | 養護教諭養成課程 | | |
| 理学部理学科全コース | | 13:00～ 面接 | |
| 工学部全学科 | | 13:00～ 面接 | |
| 農学部全学科 | | 13:00～ 面接 | |
| 地域未来共創学環 | | 12:30～ 面接 | |

(2) 試験場

| 実施学部 | 試験場名 | 所在地 |
|----------|-------------|--------------------------------|
| 人文社会科学部 | 人文社会科学部試験場 | 茨城県水戸市文京2-1-1 (水戸キャンパス) |
| 教育学部 | 教育学部試験場 | |
| 理学部 | 理学部試験場 | |
| 地域未来共創学環 | 地域未来共創学環試験場 | |
| 工学部 | 工学部試験場 | 茨城県日立市中成沢町4-12-1 (日立キャンパス) |
| 農学部 | 農学部試験場 | 茨城県稲敷郡阿見町中央3-21-1 (阿見キャンパス) |

- (注) 1. 試験場はp.35～36の案内図を参照してください。
2. **受験票に記載の試験場以外では、いかなる理由があっても受験できませんので注意してください。**
3. 志願状況によっては、試験場を変更又は追加することがあります。その場合、変更又は追加された試験場を受験票に記載しますので、必ず確認し、間違えることのないようにしてください。
4. 各試験場には駐車場はありません。受験者の送迎も含め、試験場周辺での駐停車は近隣住民の迷惑になります。試験場に来場する際には、公共交通機関を利用してください。
5. 各試験場の試験室等の案内図は、試験当日に配付もしくは掲示します。

7. 災害救助法等の適用地域の被災者に対する入学検定料免除

茨城大学では、災害等で被災した受験者の進学のを確保する観点から、本学入学者選抜の出願に際し、入学検定料免除の特別措置を実施します。

(1) 特別措置の対象となる入学者選抜

令和7年度中に実施する本学の入学者選抜
(一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生選抜)

(2) 措置内容

入学検定料の免除

(3) 対象者及び対象となる災害

上記(1)の本学入学者選抜に出願する方で、次のいずれかに該当する者

- ①平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災した者で、次のいずれかに該当する場合
 - 1) 主たる家計支持者が所有する家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - 2) 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
- ②居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者

(4) 申請方法

申請希望者は、各選抜の出願受付開始1週間前までに茨城大学学務部入試・高大連携課(029-228-8064)に連絡し、相談してください。相談の結果、該当すると判断された場合には、「入学検定料免除申請書(注)」及び下記事由に関する証明書等(写し可)を下記提出先に提出してください。

- ①平成23年3月以降に指定された災害救助法適用地域において、地震、台風等の災害により被災
 - 1) 主たる家計支持者が所有する家屋が、全壊、大規模半壊、半壊、流失した場合
 - ◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」
 - 2) 主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合
 - ◆主たる家計支持者の「死亡又は行方不明を証明する書類」
- ②居住地が福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域に指定された者
 - ◆地方公共団体が発行する「罹災証明書」又は「被災証明書」等

(5) 提出先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学学務部入試・高大連携課入学試験グループ
電話 029-228-8064・8066

(6) 審査結果の通知

入学検定料免除の審査結果は、原則として出願受理後に本学から送付します。

(注) 入学検定料免除申請書については、事前に本学ホームページからダウンロードし、必要事項を記入の上、入学検定料免除のための事由に関する証明書(罹災証明書等)を添付し、提出してください【ダウンロード場所：<https://www.ibaraki.ac.jp/admission/support/exemption/>】。出願時まで、証明書を提出できない方は、出願期間までに入学検定料を納入し、出願手続きを行ってください。後日、入学検定料免除申請書類が揃いましたら、入学検定料相当額を返還いたします。

8. 障害等のある入学志願者の事前相談

障害等のある者で、受験上又は修学上の配慮を必要とする者は、随時相談に応じますので、茨城大学アクセシビリティ支援室に相談してください。

相談は、志願者本人、保護者及び担任教諭等、本人の状態を詳しく説明できる者が行ってください。

(1) 受験上等配慮申請書の提出方法及び提出期限

相談の結果、配慮が必要と判断された場合は、以下の書類を令和7年12月5日(金)までに提出してください。なお、期限までに提出できなかった者は、早急に茨城大学アクセシビリティ支援室まで連絡してください。期限を過ぎて提出した場合でも相談は受け付けますが、相談時期や内容等によっては対応できない場合があります。

- ・ 受験上等配慮申請書（以下の作成様式を参考に作成してください）
- ・ 医師の診断書の写し又は障害者手帳の写し
※ 診断書が発行されず、障害者手帳も所持していない場合は、その旨を申し出てください。
- ・ 大学入学共通テストの「受験上の配慮事項決定通知書」の写し（大学入学共通テスト受験者のみ）

(2) 受験上等配慮内容の決定

提出された書類により、受験上及び修学上の配慮について志願予定学部・学環と相談（必要な場合は、本学において、当該志願者又は保護者等若しくはその立場を代弁し得る出身学校関係者との面談等を行うことがあります）の上、配慮内容を決定し、受験上等配慮申請者に通知します。

なお、配慮内容等の協議、また配慮を講じるにあたり、本学の関係する教職員等に個人情報通知されることとなりますので、申請にあたってはあらかじめご了承ください。

(3) 申請書類の提出先及び問い合わせ先

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学アクセシビリティ支援室
電話 029-228-8055

作成様式（A4サイズ縦により作成してください）

| | |
|---|----------------------|
| 茨城大学長 殿 | 令和 年 月 日 |
| | 申請者氏名 _____ 印 |
| 受験上等配慮申請書 | |
| 令和8年度茨城大学入学者選抜を受験するにあたり、下記のとおり配慮の申請をします。 | |
| 記 | |
| 1. 志願者氏名 | 〇〇 〇〇 年 月 日生（ 歳） 男・女 |
| 2. 卒業（見込）学校名 | 年 月 日卒業（見込） |
| 3. 志願者住所 〒 | TEL : () - |
| 4. 志願予定選抜 | 私費外国人留学生選抜 |
| 5. 志願予定学部・学環、学科・課程（コース・系・選修）等 | |
| 6. 受験上で希望する配慮内容及び理由 | |
| 7. 修学上で希望する配慮内容及び理由 | |
| 8. 出身学校での就学状況（出身学校関係者（教諭等）が具体的に記入）（記入者氏名・印） | |
| 9. 添付書類 | |

9. 合格者発表

下表のとおり、本学ホームページにおいて、学部・学環ごとに合格者の「受験番号」のみを発表します。合格者の発表後、合格者には、インターネット出願サイトのマイページにおいて「合格通知書」、「入学手続について（入学手続の案内）」を掲載します。

| 発表日時 | 掲載サイト |
|-----------------|---|
| 令和8年2月20日（金）13時 | 本学ホームページ（合格発表） https://www.ibaraki.ac.jp/admission/successful/ |

※アクセスが集中すると、接続しにくくなることがあります。その場合は、時間を置いてからアクセスしてください。

【合格者発表に関する注意事項】

1. 合格者発表に関する電話等による照会には、一切応じていません。
2. 本学から合格者へ紙（印刷物）による「合格通知書」の発行・発送をすることはありません。紙（印刷物）による「合格通知書」が必要な方は、ダウンロードしたものを各自で印刷してください。
3. 合格しているにもかかわらず、インターネット出願サイトのマイページに「合格通知書」等が掲載されていない場合は、速やかに裏表紙の問い合わせ先（学務部入試・高大連携課入学試験グループ）までご連絡ください。
4. 合格電報等は、取り扱っていません。
5. 不合格者には、選考結果を通知していません。

10. 入学手続等

合格者は、「合格通知書」と併せて掲載される「入学手続について（入学手続の案内）」に従い、下記の入学手続期間中に所定の手続を完了してください。

この入学手続期間中に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

なお、本学では、出入国管理及び難民認定法に定める在留資格「留学」を取得した者を“外国人留学生”としています。したがって、入学後に「留学」の在留資格を有しない者は、本学国際交流会館への入居や奨学金の申請など、外国人留学生向け各種取扱の対象とはなりませんので、注意してください。

（1）入学手続期間

令和8年3月3日（火）から3月5日（木）まで

（2）入学手続方法及び必要書類等

①入学手続方法

入学手続は、「入学手続について（入学手続の案内）」で通知する入学手続システムより、入学手続期間内に行ってください。

②必要書類等

入学手続システムに掲載する「入学手続要項」をご参照ください。

〈入学手続についての問い合わせ先〉

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1 電話 029-228-8414

茨城大学スタディサポート室（入学手続担当）

③「在留資格認定証明書（COE）」について

在留資格「留学」の申請には、合格後、在留資格認定証明書（COE）を日本の出入国在留管理局から取得することが必要です。この交付申請は日本国内でしか行うことができません（海外からの郵送等で手続きを行うことはできません）。本学では、日本国外に居住する外国籍の合格者のために、出入国在留管理庁へ「在留資格認定証明書（COE）」（留学）の代理申請を行っています。代理申請の方法については、合格者に別途詳細をお知らせします。

なお、交付には申請書提出後3か月かかる見込みです。入学式や授業開始に間に合わない可能性が高いので、あらかじめ、本学グローバルエンゲージメントセンターのホームページで詳細をよく確認の上、下記〈**在留資格についての問合せ先**〉に必ずご連絡ください。短期滞在ビザで大学に在籍し続けることはできません。

〈在留資格についての問合せ先〉茨城大学グローバル教育サポート室

電話 029-228-8593

E-mail adm-international.sbx@vc.ibaraki.ac.jp

ホームページ http://cge.lae.ibaraki.ac.jp/international_student/license.html

(3) 納付金

①入学料

◇納入金額

282,000円

※入学料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料が適用されます。

※入学料支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。

◇納入方法

入学料は、入学手続きシステムの指示に従って、入学手続き期間中に納入してください。

②その他の納付金

①の入学料と併せて、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険(Aコース)、茨城大学教育研究助成会費、学部後援会費及び学部同窓会費(*)のほか、1年次に2回と3年次に1回の計3回実施されるTOEIC IPテストの受験経費など、より良い学修の実施に充てるための経費を納入していただく必要があります。

詳細につきましては入学手続きシステムに掲載する「入学手続き要項」でお知らせします。

(*) 地域未来共創学環では後援会及び同窓会を設置していないため、これらに関する会費の徴収はありません。

③授業料

◇納入金額

前期分 267,900円(年額535,800円)

後期分 267,900円

※授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

◇納入方法

事前に引き落とし口座の登録をしていただき、口座引き落としにより納入していただきます。

引き落とし日は、前期分は令和8年5月末頃、後期分は令和8年11月末頃の予定です。

納入方法の詳細につきましては、入学手続きシステムに掲載する「入学手続き要項」でお知らせします。

〈入学料及び授業料の納入についての問い合わせ先〉

茨城大学財務部財務課経理グループ 電話 029-228-8561

(4) 学費の免除及び徴収猶予

①入学料免除・授業料免除

ア) 制度

入学料や授業料（以下、「学費」という。）の免除を行う経済支援制度です。

イ) 対象者

本学の学部または大学院の正規課程に私費外国人留学生として入学する者で日本国の法律（「出入国管理及び難民認定法」）に定められる「留学」の在留資格を有する者または取得見込みの者が対象となります。

在留資格が「永住者」、「日本人の配偶者等」、「永住者の配偶者等」、「定住者」、「家族滞在」の者については、本制度ではなく、日本人学生向けの経済支援の対象となります。

※日本人学生向けの案内は、入学手続システムに掲載する「茨城大学の経済支援の手引」で、日本人学生対象の項目をご覧ください。

◇入学料免除制度対象者

学生自身が下記（1）または（2）に該当する場合、対象となります。対象者は試験成績及び大学予算に応じて、入学料の全額免除や半額免除が適用されます。

（1）平成23年3月以降に指定された災害救助法の適用地域において、地震、台風等の災害により被災した場合で次のいずれかに該当する場合

- ア.主たる家計支持者が居住する住宅家屋が、全壊・大規模半壊、半壊、流出した場合
- イ.主たる家計支持者が災害により死亡又は行方不明である場合

（2）居住地が福島第一原子力発電所事故による帰宅困難地域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域にある場合

◇授業料免除制度対象者

入学者選抜試験の試験成績が合格者の上位1/2に入っている者が対象となります。対象者は試験成績及び大学予算に応じて、授業料の全額免除、半額免除、または1/4額免除が適用されます。

ウ) 申請方法

学費免除申請対象者となった方で学費免除の申請を希望する者は、入学手続システムで案内する「茨城大学の経済支援の手引」の記載事項に従って、指定された入学手続期間に必要な手続きを行ってください。

〈学費免除・徴収猶予の問合せ先〉

茨城大学スチューデントライフサポート室 電話029-228-8067・8059

エ) 注意事項

入学者選抜試験の成績に基づく審査に適用される授業料免除期間は入学時から連続して2学期間です。

2年次以降については、学期ごとに申請者の学業成績に基づき、審査を行い、免除額の決定をします。

2年次以降に授業料免除を希望する者は、大学から案内のあった所定の期日までに申請を行ってください。

②学費の徴収猶予

ア) 制度

経済的理由により、納入期限までに学費の納入が困難な方に、学費の徴収猶予を行うものです。入学料は延納ができ、授業料は延納や月割分納を行うことができる制度です。

イ) 対象者

本学の学部または大学院の正規課程に入学する者。

ウ) 申請方法

学費の徴収猶予を希望する者は、入学手続システムで案内する「茨城大学の経済支援の手引」の記載事項に従って、指定された入学手続期間に必要な手続きを行ってください。

エ) 注意事項

入学時の申請では、入学料及び前学期分の授業料が徴収猶予対象となります。後学期分の授業料の徴収猶予を希望する者は、入学後に大学から案内のあった所定の期日までに申請を行ってください。

11. 情報提供

(1) 入学者選抜個人成績の開示

当該年度の入学者選抜の個人成績を、試験終了後、受験者本人に限って開示します。

①申請期間等 令和8年4月23日(木)～4月30日(木)

※郵送の場合は4月30日(木)消印有効

※持参の場合の受付は平日の9時から12時まで及び13時から17時までに限ります。

②申請者 受験者本人に限ります。

③申請方法 次の書類を下記④の申請先に郵送で提出するか、又は持参してください。

1) 茨城大学入学者選抜情報開示申請書

本学ホームページに掲載する他、入試・高大連携課窓口で配布します。

2) 本学の受験票の写し

3) 本人確認のできる書類の写し(大学入学共通テストの受験票、学生証、免許証、パスポート等)

4) 返信用封筒(長形3号/120mm×235mm)

申請者の住所・氏名・郵便番号を明記の上、460円分(簡易書留料金)の切手を貼り付けてください。ただし、郵便料金の改定が行われた場合には、改定時から新料金が適用されます。

※電話での申し込みは受け付けません。

④申請先 〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

茨城大学学務部入試・高大連携課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066

⑤開示方法 申請者あてに、簡易書留郵便で6月上旬までに発送します。

⑥開示内容

●一般選抜

【得点】 大学入学共通テストと個別学力検査等のそれぞれの得点の合計及び総得点を開示します。

【評価】 合格者には、A・B・Cのランクにより開示します。

不合格者には、段階別(5段階程度)に区分して開示します。ただし、不合格者が5人未満の場合は開示しません。

【調査書】 開示しません。

●総合型選抜、学校推薦型選抜、私費外国人留学生選抜

【得点】 開示しません。

【評価】 合格者には、開示しません。

不合格者には、段階別(3段階程度)に区分して開示します。ただし、不合格者が5人未満の場合は開示しません。

【調査書】 「総合的な探究の時間の記録」、「指導上参考となる諸事項」及び「備考」欄を除いた調査書の写し(コピー)を開示します。ただし、調査書を出願書類にしていない選抜を除きます。

⑦その他順位についてはいずれの試験区分も開示しません。

(2) その他の情報提供について

当該年度の入学者選抜の志願者数、受験者数及び合格者数等の情報については、本学ホームページ

【<https://www.ibaraki.ac.jp/admission/situation/>】で随時提供します。

また、前年度の選抜結果及び過去の入試問題、一般選抜合格者成績情報(合格者の最高点・平均点・最低点)についても、本学ホームページに掲載しています。

12. 個人情報の取扱い

本学は、「個人情報の保護に関する法律」及び本学が定める「国立大学法人茨城大学個人情報の保護及び管理規程」等に基づき、個人情報の適正な管理と保護を行っています。

出願及び入学手続き時に取得する受験者・入学志願者の氏名、生年月日、性別、試験成績その他の個人情報等は次の目的に利用します。

- ・入学者選抜並びに合格者発表及び入学手続に関する業務
- ・合格者の入学後の教務（学籍管理、修学指導等）、学生支援（健康管理、奨学金、授業料免除、就職支援等）、授業料等に関する業務
- ・入学者選抜方法等の改善や広報のための調査、分析及び研究
- ・個人が特定できない形での統計データへの加工及び利用

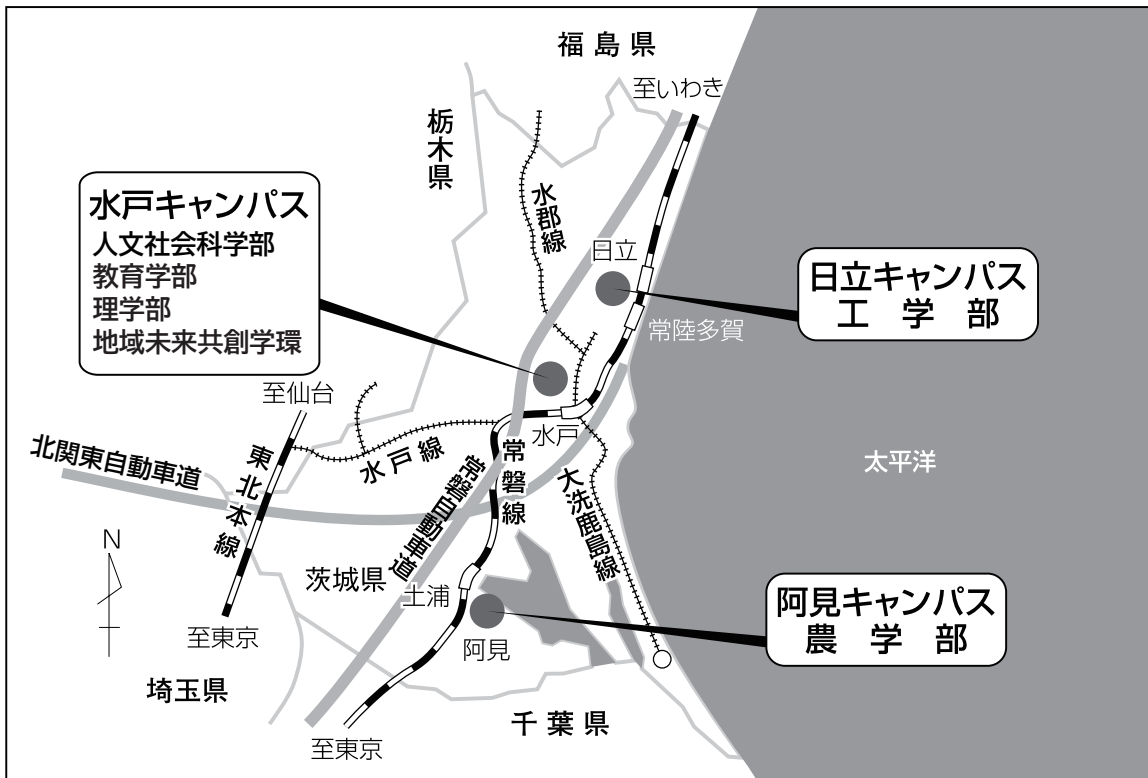
また、「個人情報の保護に関する法律」第27条第1項各号に規定された場合を除いて、本人の同意を得ることなく個人情報の第三者への提供は行いません。

13. 不正行為・迷惑行為

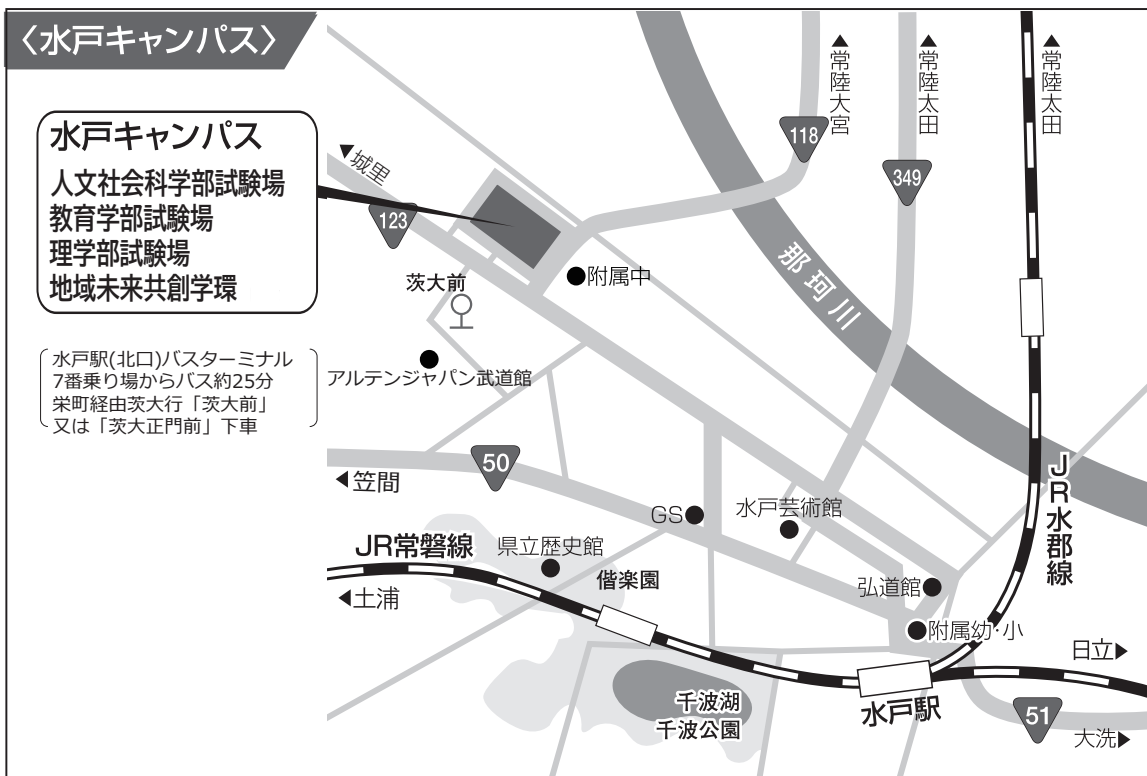
カンニングなどの不正行為や他の受験者への迷惑行為を行った場合は、試験の公正・公平性を損なう行為となるため、受験を取りやめさせ、すべての試験の成績を無効とすることがあります。また、本学が特に悪質だと判断した場合は警察に被害届を提出するなど、厳正に対処します。

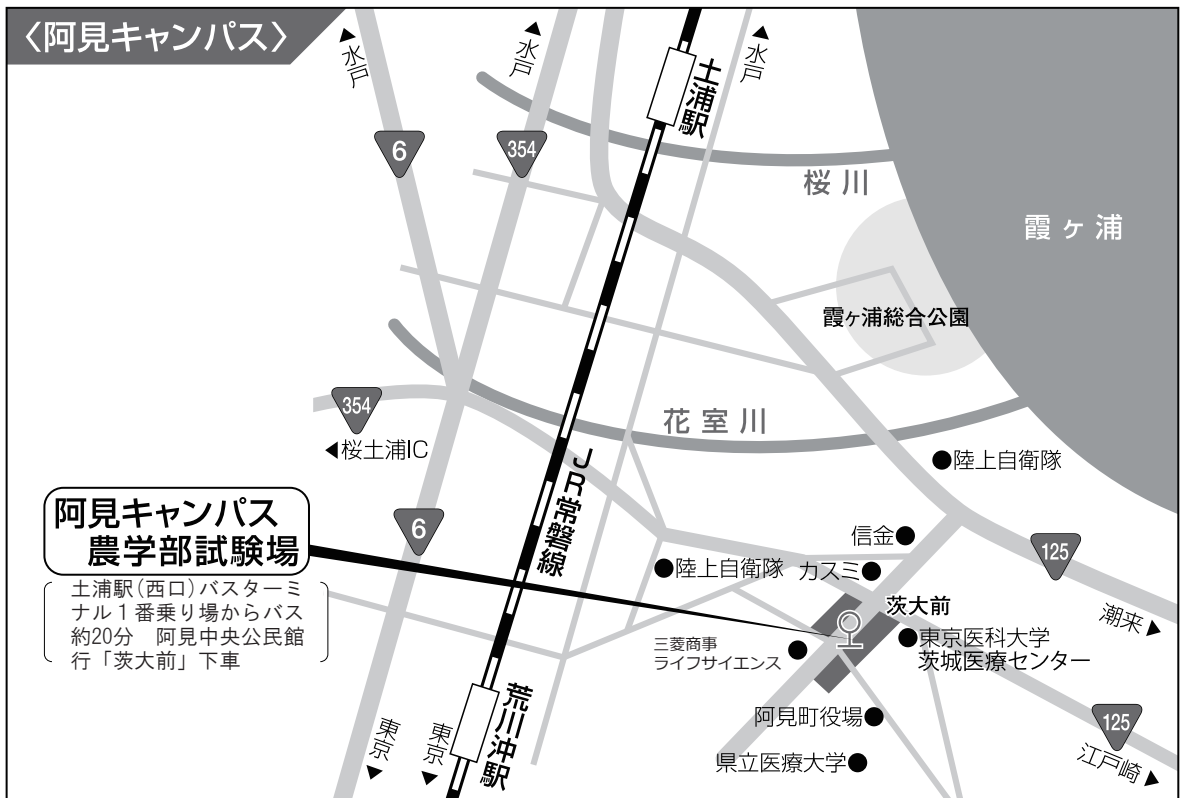
◎ 試験場等案内図

(1) 本学案内図



(2) 試験場案内図





(このページは空白ページです)

～ 注 意 ～

[合格電報・アパート等の勧誘について]

試験当日に、本学周辺又は最寄り駅等において、本学職員を装い、合格電報やアパートの斡旋等の勧誘と称して個人情報を記入させ、受験者からの金銭の収受を行っている業者等が見受けられます。これらの業者等は本学とは一切無関係であり、事故・トラブル等が生じても本学は責任を負いませんので、十分に気をつけてください。

なお、合格者の受験番号は合格者発表日に本学ホームページに掲載され、どなたでも閲覧することができますので、本学が合格電報等を斡旋することは絶対にありません。

また、本学が試験当日に受験者に対し金銭の収受を行うことは絶対にありません。

[乗用車等による来学について]

試験当日に、乗用車等により来学されても、構内へは駐車できません。

近隣の路上、店舗、私有地への違法駐車は、交通渋滞等の原因となり、人身事故等が発生するなど、近隣の方々にご迷惑をおかけしていますので、来学の際は、公共交通機関を利用してください。

入学者選抜に関する問い合わせ先

※問い合わせは、志願者本人が行ってください。

受付時間：9時00分～17時00分（12時00分～13時00分、土・日曜日及び祝日を除く）

○茨城大学学務部入試・高大連携課入学試験グループ

電話 029-228-8064・8066

〒310-8512 茨城県水戸市文京2-1-1

その他の問い合わせ先

- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ○在留資格・国際交流会館について | 電話 029-228-8593 |
| ○障害等のある入学志願者の事前相談について | 電話 029-228-8055 |
| ○入学手続について | 電話 029-228-8414 |
| ○入学料及び授業料の納入について | 電話 029-228-8561 |
| ○学費の免除・徴収猶予について | 電話 029-228-8067 |
| ○奨学金について | 電話 029-228-8059 |
| ○工学部（日立キャンパス） | 電話 0294-38-5223 |
| ○農学部（阿見キャンパス） | 電話 029-888-8519 |

茨城大学ホームページ

<https://www.ibaraki.ac.jp/>

パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

【QRコード】



不測の事態が発生した場合の対応について

災害や感染症のまん延等の不測の事態が発生した場合は、出願期間や選抜日程、実施方法等に変更が生じることがあります。その際は、上記の本学ホームページによりお知らせしますので、出願・受験前には必ず確認してください。